

# 「小松商工会議所景気見通し調査」

## 結果報告書

調査期間 令和2年12月

小松商工会議所

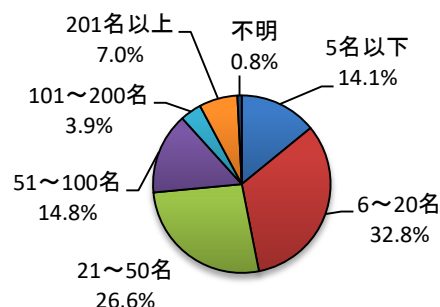
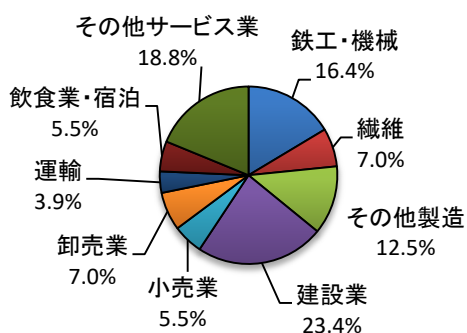
中小企業相談所

【調査対象】

小松商工会議所 議員・評議員企業 221社

回収率 128企業 (回収率 57.9%)

業種 / 従業員数		5名以下	6～20名	21～50名	51～100名	101～200名	201名以上	不明	合計
製造業	鉄工・機械		2	7	7	3	2		21
	繊維	2	3	2	2				9
	その他製造	2	4	2	3	1	4		16
建設業		3	16	9	1			1	30
小売業		1	2	1	3				7
卸売業		2	3	3		1			9
サービス業	運輸			2	2		1		5
	飲食業・宿泊	5		2					7
	その他サービス業	3	12	6	1		2		24
合計		18	42	34	19	5	9	1	128



景況・業況の動向

【主要な表現について】

※業況判断 … 調査対象企業が自らの業績に下した判断

※D I 値 … D. I(デフュージョン・インデックス)とは企業の景況感を示す指数  
「好転」の割合から「悪化」の割合を差し引いた値(無回答を除く)

※前 期 … 令和2年度第2四半期(令和2年7月～9月)

今 期 … 令和2年度第3四半期(令和2年10月～12月、但し12月は見込み)

来 期 … 令和2年度第4四半期(令和3年1月～3月)

【各項目別のDI値の意味について】

- (1)景 況 感 … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (2)売 上 高 … DI 値がプラスなら「増加」を、マイナスなら「減少」を表す。
- (3)売上単価 … DI 値がプラスなら「上昇」を、マイナスなら「低下」を表す。
- (4)資金繰り … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。
- (5)採算性(経常利益) … DI 値がプラスなら「好転」を、マイナスなら「悪化」を表す。

## (1)-1 貴企業の景況感

(単位:社)

	鉄工・機械		繊維		その他製造		建設業		小売業		卸売業		サービス業	
	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期	今期	来期
好調	15	6	2		6	5	3	1			3	1	7	3
不変	3	12	3	6	7	4	19	18	2	1	6	6	17	18
悪化	3	3	4	3	3	7	8	10	5	6		2	12	14
無回答								1						1
総計	21		9		16		30		7		9		36	

Q「景況・業況の動向」の項目における「景況感判断」に関する理由

## 【今期：好転の理由】

株コマツの生産台数が増えたため。受注増（鉄工・機械）
生産計画が増産へ転じてきている（鉄工・機械）
得意先の発注量が増えた（鉄工・機械）
建機が思った以上に増産、取引のある他業種も堅調（鉄工・機械）
発注量がコロナ禍初期に比べると、社会の変化と共に増加した（鉄工・機械）
自動車の生産台数の増加（鉄工・機械）
小松 SS 増産、自動二輪車関連増、再生可能エネルギー部品増（鉄工・機械）
コロナ禍による経済活動の停滞が底を打ったため（鉄工・機械）
10 月から受注増加（鉄工・機械）
前期比若干改善傾向（繊維）
年間の繁忙差があり、第 2 四半期より第 3 四半期の方が、需要が多い（その他製造業）
コロナでの売上の落ち込みが元に戻った（その他製造）
例年の傾向を踏まえて（その他製造）
稼働時間の増加（その他製造）
建設業においてはあまり影響がなかった（建設業）
繁忙期のため（建設業）
国県市のすべての政策により、人が動くようになったため（卸売業）
カニ漁解禁と Go To、コロナの石川県での減少により好転（卸売業）
Go To トラベルや Go To イート が貢献してくれた（卸売業）
建設機械関連の物量が回復して来ている（運輸）
Go To トラベルにより、一時的に売上が増加したため（運輸）
コロナが少し落ち着いたため、今期はやや回復した。Go To イートもよかった（飲食業・宿泊）
大学生がリモートでの在宅(小松市)で、免許取得した為（その他サービス業）
車の販売が好転(7 月頃から)（その他サービス業）
お客様の動きが戻ってきたため（その他サービス業）

## 【今期：不変の理由】

受注がなかなか戻らない（鉄工・機械）
売上水準による（鉄工・機械）
客先ディーラーの在庫調整（鉄工・機械）
最悪である（繊維）
市況の回復が見えない（繊維）
低空飛行のまま推移している（繊維）

東京のコロナ対応改善により Go To キャンペーンなどで、11 月から多少改善したが、前半には大きく乖離している（その他製造）
コロナの影響もあり、市場回復に時間がかかると予測（その他製造）
公共関連の手持ち工事の繰り越し分が順調に完成している（建設業）
官庁発注が主体のため（建設業）
公共事業の受注が増えた。また顧客が設備更新時期になっている（建設業）
建設関連にはあまり影響はなかったように思う（建設業）
以前からの見込客の受注が得られ、少し増加が見られた（建設業）
特別な事がない（建設業）
よくなりかけて、第3波がきてしまった（卸売業）
売上単価の低下（卸売業）
建設機械業界に回復感があるが、工作機械・バス・織機関連は落ち込んだままで、全体でマイナスが続く（卸売業）
外出自粛による需要減少、原油価格高騰による仕入原価値上、価格競争による売上単価の低下 (小売・卸売業)
取引先により、上昇した企業と下降した企業が平均的にあるため（運輸）
仕事があっても人材不足（建設業）
コロナに関係なく、例年通り繁忙期となった（建設業）
少し良くなったと思ったら小松クリーン作戦パート 2 でキャンセル多発（飲食業・宿泊）
コロナによる影響（飲食業・宿泊）
国際線運行再開の見通しが立たない為（その他サービス業）
特に変化なし・著変なし（その他サービス業）
公共関連の仕事が堅調（その他サービス業）
市場全体の景気後退（その他サービス業）

【今期：悪化の理由】

観光バス運用等の低下により、新規バス部品の受注減（鉄工・機械）
客先の生産量が戻っていない（鉄工・機械）
物の動きが止まり、廃業者が続出、結果単価が上がる傾向に（繊維）
10 月、11 月とシーズンでも有り、比較的順調、12 月は悪化（繊維）
急に仕事が枯渇してきた（その他製造）
従前よりの和形瓦の需要減とコロナ感染症の影響も少なからず受けている（その他製造）
受注の減少（建設業）
民間設備投資が相変わらず低調（建設業）
一時的に取引先の生産は上がっているが、設備投資には至っていない（建設業）
4.5.6 月の落ち込み（小売業）
新型コロナウイルス収束の目途が立たない為（飲食業・宿泊）
コロナが悪く感じる（飲食業・宿泊）
コロナウイルスの影響で、人の動きが少ない（その他サービス業）
コロナ禍影響による取引先の操業・景況の減少（その他サービス業）
コロナにより一部利用者の受け入れ制限を行っているため（その他サービス業）
工事受注高の減少（その他サービス業）

【来期：好転の理由】

(株)コマツの生産台数が更に増える予想のため（鉄工・機械）
弊社の繁忙期は1月～3月となるので、そのままの社会変化であれば例年通りとなる予定 （鉄工・機械）
主要客先の生産増加によるもの（鉄工・機械）
年間の繁閑差があり、第3四半期より第4四半期の方が、需要が多い（その他製造業）
例年の傾向を踏まえて（その他製造）
大型物件の施工タイミングが重なっている（建設業）
コロナが下火になり、人が動き、イベントが復活すれば（卸売業）
上半期中は現状を維持できると考えている（運輸）
今期の減少の反動があると考えるため（その他サービス業）

【来期：不変の理由】

今期生産量の維持見込み（鉄工・機械）
得意先の発注量が増えた（鉄工・機械）
コロナ第3波の心理的なものがわからない（鉄工・機械）
今期と同様の受注が見込まれているため（鉄工・機械）
自動車の生産台数の増加（鉄工・機械）
小松SS増産、自動二輪車関連増、再生可能エネルギー部品増の継続あり（鉄工・機械）
新型コロナ禍の中、不透明である為（鉄工・機械）
客先情報による（鉄工・機械）
来年になって好転する兆しがない（繊維）
不明な点が多い（繊維）
市況の回復が見えない（繊維）
人々の暮らしが苦しい以上、不要な消費は減る傾向（繊維）
生産計画による（その他製造）
コロナの影響もあり、市場回復に時間がかかると予測（その他製造）
このまま今期と変わらずいくと思う（その他製造）
特別な事がない（建設業）
全体がどう変わって行くか見通せない（建設業）
見込客の数、度合いが未だ前年より少ないが、これからの伸びに期待し不変とした（建設業）
先が見えない（建設業）
悪いまま行きそう（卸売業）
売上単価安の傾向変わらず（卸売業）
今期と同様、建設機械業界に回復感があるが、工作機械・バス・織機関連は落ち込んだままで、全体でマイナスが続く（卸売業）
原油価格の先行見通しがつかない為不明（小売・卸売業）
取引先により、上昇した企業と下降した企業が平均的にあるため（運輸）
コロナによる影響（飲食業・宿泊）
コロナ感染者が増える中、何も良い事はない（飲食業・宿泊）
国際線運行再開の見通しが立たない為（その他サービス業）
新型車の発売により、車両販売が伸びるかも（その他サービス業）
工事受注高の増加（その他サービス業）
公共関連の仕事が堅調（その他サービス業）
コロナ第3波により？（その他サービス業）
特に変化なし・著変なし（その他サービス業）

【来期：悪化の理由】

簡単にはコロナ前に戻らないと思う（鉄工・機械）
観光バス運用等の低下により、新規バス部品の受注減（鉄工・機械）
客先の生産量が戻っていない（鉄工・機械）
シーズン・オフと新型コロナの影響もあり、悪化方向に（繊維）
今後も和形瓦の需要減少及びコロナ感染症の影響が続くと思われる（その他製造）
東京中心に1都3県の感染状況から、1月以降の大きな落ち込みが予想される（その他製造）
見積も減った（その他製造・建設業）
民間工事が減少しつつある。設備投資が来期に延びている（建設業）
顧客引合いの減少（建設業）
官公庁の建設予算削減と予想（建設業）
今後コロナ禍によって、多分野の経営状況の悪化を見通す（建設業）
先行見通し不明のため（小売業）
Go Toトラベルや Go To Eat がとりやめになるから（卸売業）
コロナの感染者の増加に伴い、外食が減る為、売上減が予想される（卸売業）
コロナ自体は収束しておらず、収入の回復も頭打ち感がある他、季節的な要因による（運輸）
再びコロナが増加し、自粛ムードになるため、悪化してきているから（飲食業・宿泊）
市場の投資計画が発生しない（その他サービス業）
先行き不透明（その他サービス業）
コロナにより一部利用者の受け入れ制限を行っているため（その他サービス業）
コロナウイルスの影響で、人の動きが少ない（その他サービス業）
来期にあっては未定であるが、県外・市外で運転免許取得の可能性あり（その他サービス業）

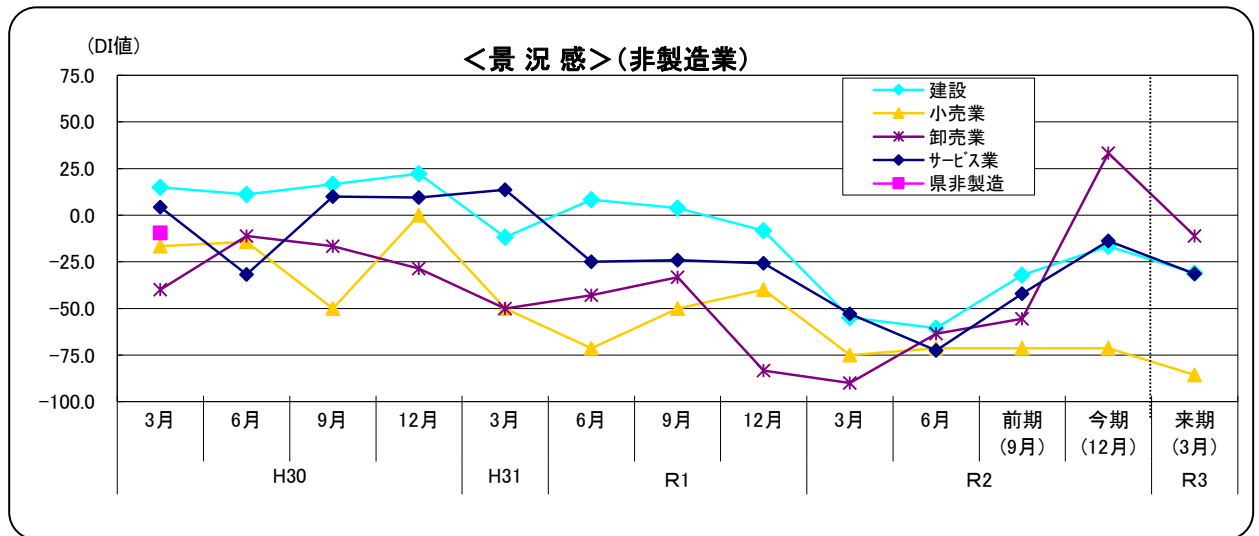
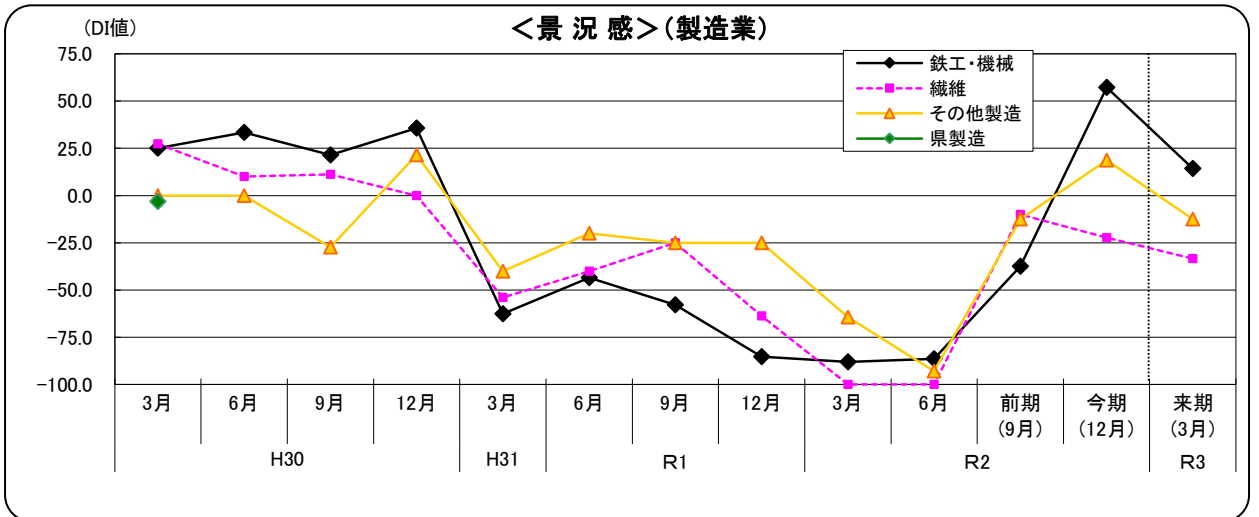
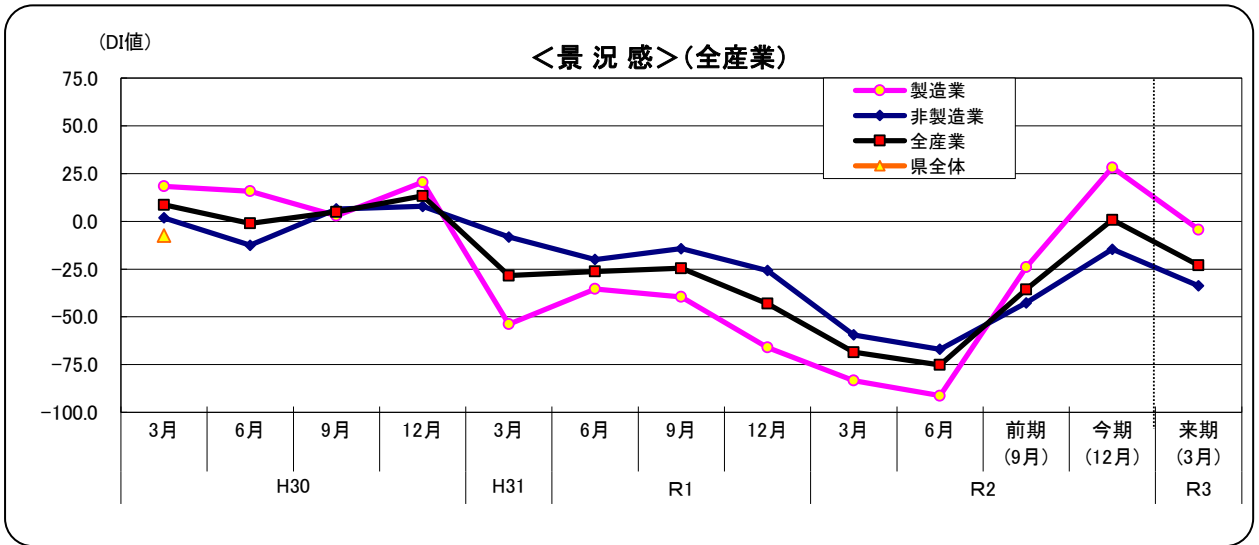
(1)-2 DI値

(単位:DI)

		前期	今期	来期
製造業	鉄工・機械	▲ 37.5	57.1	14.3
	繊維	▲ 10.0	▲ 22.2	▲ 33.3
	その他製造	▲ 12.5	18.8	▲ 12.5
	製造計	▲ 24.0	28.3	▲ 4.3
非製造業	建設業	▲ 32.1	▲ 16.7	▲ 31.0
	小売業	▲ 71.4	▲ 71.4	▲ 85.7
	卸売業	▲ 55.6	33.3	▲ 11.1
	サービス業(運輸含む)	▲ 42.1	▲ 13.9	▲ 31.4
	非製造計	▲ 42.7	▲ 14.6	▲ 33.8
全 体		▲ 35.6	0.8	▲ 23.0
改善予測		8.9	▲ 23.8	—

※改善予測（「来期」見通しから「今期」を差し引いた値、プラスの場合は今期より来期の方が上昇するという予測）

(1)-3 年次別の推移



製造業については、鉄工・機械において 前期 ▲37.5 ポイント、今期 57.1 ポイント、来期 14.3 ポイントの見通し、その他製造において 前期 ▲12.5 ポイント、今期 18.8 ポイント、来期 ▲12.5 ポイントの見通しと、2期連続の上昇となったが、来期は下降する見通しである。繊維においては 前期 ▲10.0 ポイント、今期 ▲22.2 ポイント、来期 ▲33.3 ポイントと先行き見通しがよくない状況である。

非製造業については、建設業において 前期 ▲32.1 ポイント、今期 ▲16.7 ポイント、来期 ▲31.0 ポイント、小売業において 前期・今期共に ▲71.4 ポイント、来期 ▲85.7 ポイント、卸売業において 前期 ▲55.6 ポイント、今期 33.3 ポイント、来期 ▲11.1 ポイント、サービス業において 前期 ▲42.1 ポイント、今期 ▲13.9 ポイント、来期 ▲31.4 ポイントとなった。アンケート回答期間中にも、コロナ第3波により、Go To トラベルの全国一時停止が発表されるなど不安材料が多く、総じて厳しい状況が続く見通しである。

(単位:DI)

区分	今期(R2.12)			来期(R3.3)			備考
	小松地区	北陸三県	全国	小松地区	北陸三県	全国	
製造業	28.3	▲30	▲20	▼ ▲ 4.3	▲ 25	▼ ▲ 19	46社
非製造業	▲ 14.6	▲ 16	▲ 11	▼ ▲ 33.8	▲ 24	▲ 16	82社
全体	0.8	▲ 22	▲ 15	▼ ▲ 23.0	▲ 25	▼ ▲ 18	128社

※北陸三県並びに全国の数値は 日銀金沢支店・短観(全国企業短期経済観測調査)より

(2)－(5)売上高、売上単価、資金繰り、採算性(経常利益) DI一覧表

今期(令和2年度第3四半期)の状況

(単位:DI)

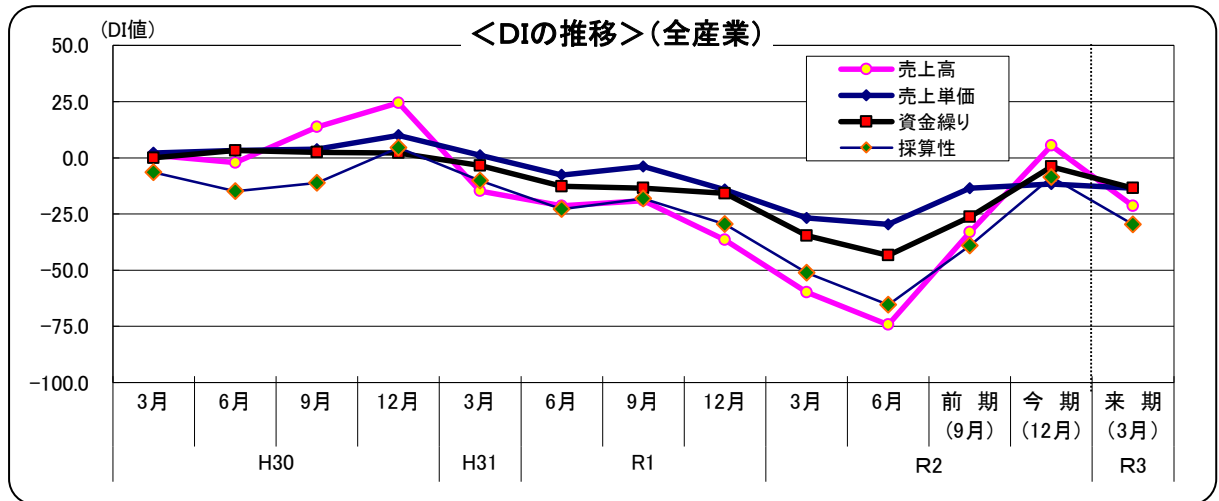
	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	61.9	0.0	28.6	33.3
繊維	▲ 22.2	▲ 22.2	▲ 22.2	▲ 22.2
その他製造	25.0	▲ 18.8	▲ 12.5	0.0
建設業	▲ 10.0	▲ 10.0	3.3	▲ 6.7
小売業	▲ 100.0	▲ 71.4	▲ 14.3	▲ 57.1
卸売業	55.6	11.1	0.0	11.1
サービス業	▲ 8.3	▲ 8.3	▲ 19.4	▲ 30.6
全体	5.5	▲ 11.7	▲ 3.9	▲ 8.6

来期(令和2年度第4四半期)の見通

(単位:DI)

業種	売上高	売上単価	資金繰り	採算性
鉄工・機械	9.5	▲ 9.5	0.0	0.0
繊維	▲ 22.2	0.0	▲ 44.4	▲ 55.6
その他製造	▲ 6.3	▲ 18.8	▲ 12.5	▲ 18.8
建設業	▲ 30.0	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 33.3
小売業	▲ 85.7	▲ 57.1	▲ 28.6	▲ 57.1
卸売業	▲ 22.2	▲ 11.1	▲ 11.1	▲ 33.3
サービス業	▲ 26.5	▲ 8.8	▲ 17.6	▲ 36.4
全体	▲ 21.4	▲ 13.5	▲ 13.5	▲ 29.6
改善予測(今回)	▲ 26.9	▲ 1.8	▲ 9.6	▲ 21.0
改善予測(R02.9)	14.0	1.2	5.7	7.8
改善予測(R02.6)	34.6	8.9	14.0	22.8

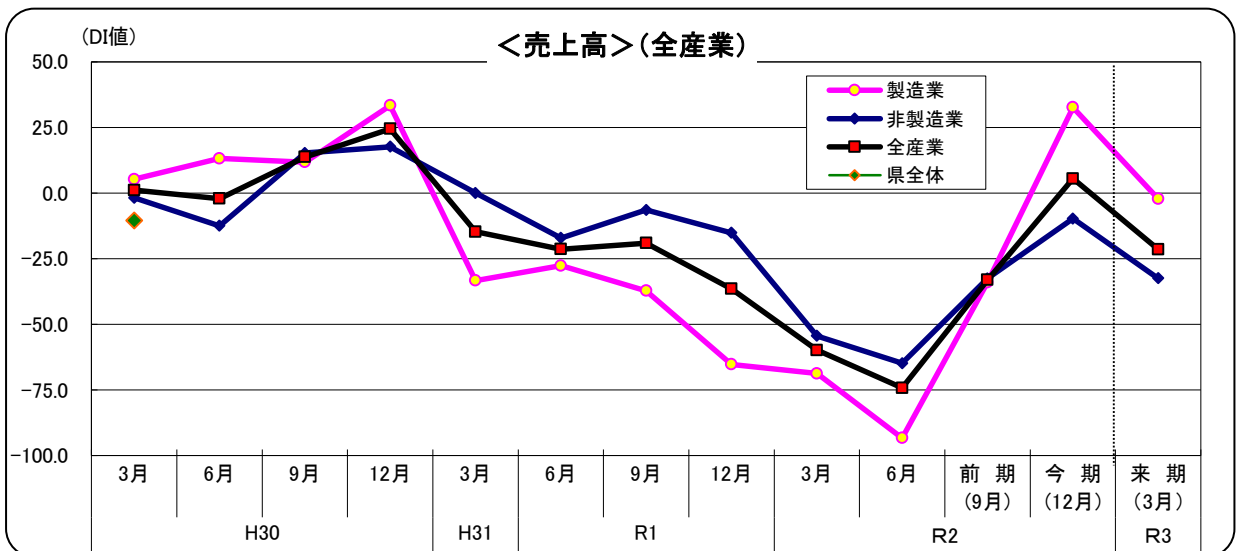




(2) 売上高

(単位: DI)

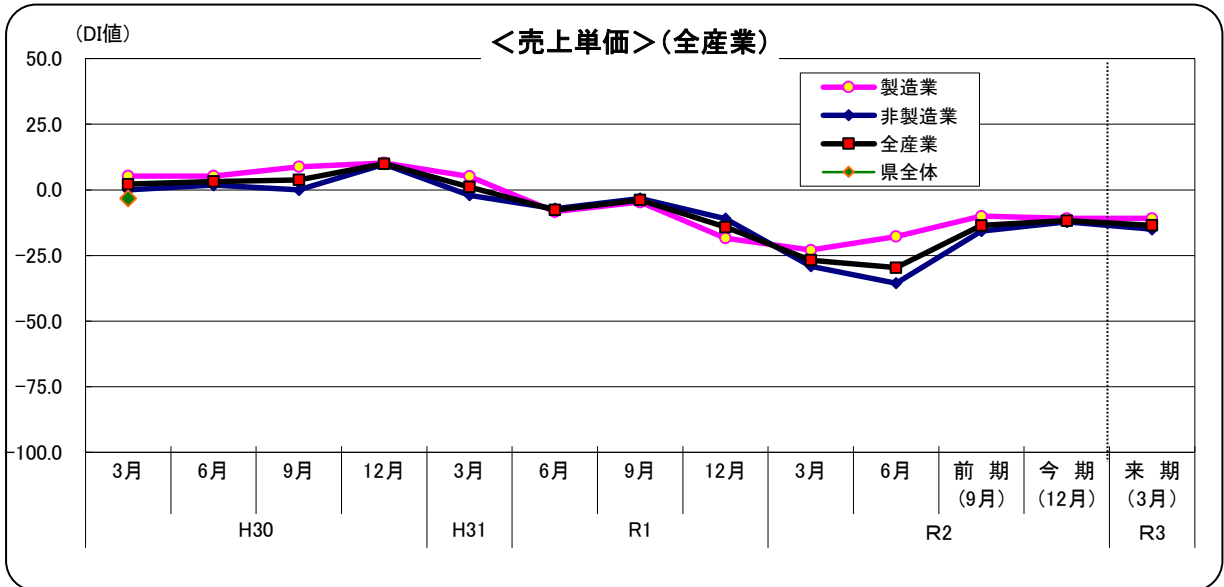
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	9.5	▲ 22.2	▲ 6.3	▲ 2.2	▲ 30.0	▲ 85.7	▲ 22.2	▲ 26.5	▲ 32.5	▲ 21.4
今期	61.9	▲ 22.2	25.0	32.6	▲ 10.0	▲ 100.0	55.6	▲ 8.3	▲ 9.8	5.5
前期	▲ 54.2	▲ 30.0	▲ 6.3	▲ 34.0	▲ 20.7	▲ 71.4	▲ 44.4	▲ 31.6	▲ 32.5	▲ 33.1



(3) 売上単価

(単位:DI)

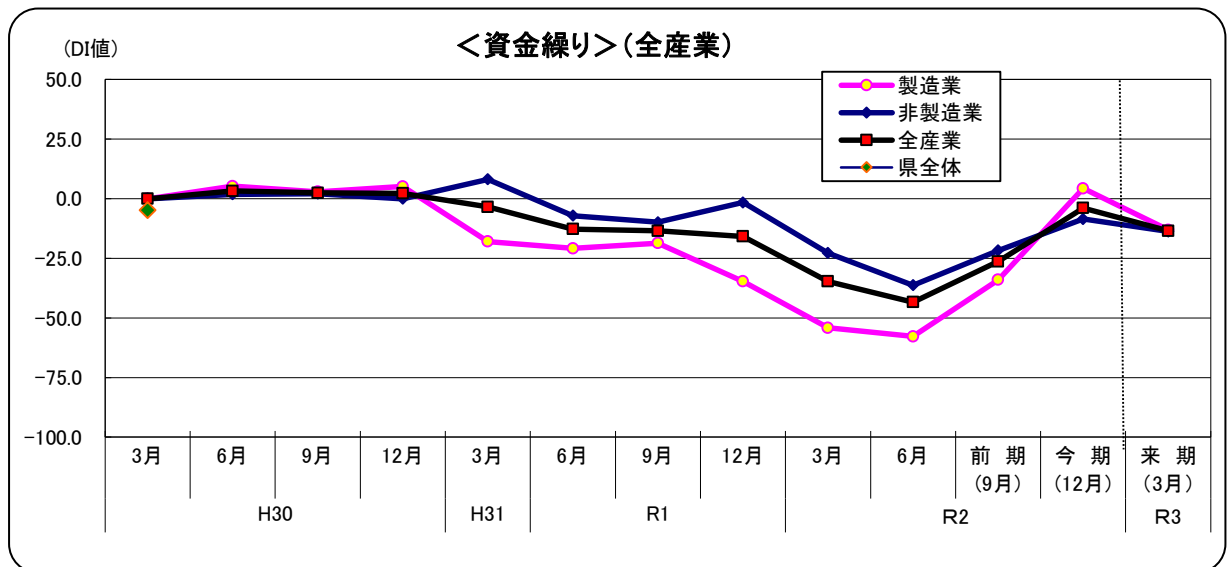
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	▲ 9.5	0.0	▲ 18.8	▲ 10.9	▲ 13.3	▲ 57.1	▲ 11.1	▲ 8.8	▲ 15.0	▲ 13.5
今期	0.0	▲ 22.2	▲ 18.8	▲ 10.9	▲ 10.0	▲ 71.4	11.1	▲ 8.3	▲ 12.2	▲ 11.7
前期	▲ 12.5	▲ 10.0	▲ 6.3	▲ 10.0	▲ 13.8	▲ 28.6	11.1	▲ 21.1	▲ 15.7	▲ 13.5



(4) 資金繰り

(単位:DI)

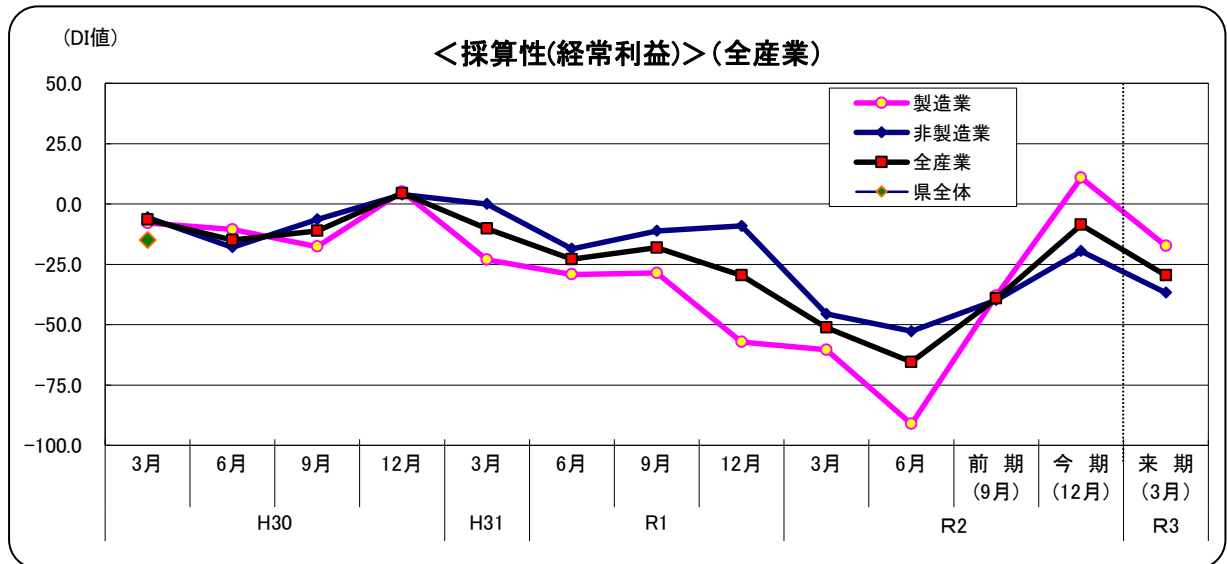
	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	0.0	▲ 44.4	▲ 12.5	▲ 13.0	▲ 6.7	▲ 28.6	▲ 11.1	▲ 17.6	▲ 13.8	▲ 13.5
今期	28.6	▲ 22.2	▲ 12.5	4.3	3.3	▲ 14.3	0.0	▲ 19.4	▲ 8.5	▲ 3.9
前期	▲ 37.5	▲ 50.0	▲ 18.8	▲ 34.0	▲ 3.4	▲ 42.9	▲ 33.3	▲ 28.9	▲ 21.7	▲ 26.3



(5) 採算性(経常利益)

(単位: DI)

	製造業				非製造業					全産業
	鉄工・機械	繊維	その他	製造計	建設業	小売業	卸売業	サービス業	非製造計	
来期	0.0	▲ 55.6	▲ 18.8	▲ 17.4	▲ 33.3	▲ 57.1	▲ 33.3	▲ 36.4	▲ 36.7	▲ 29.6
今期	33.3	▲ 22.2	0.0	10.9	▲ 6.7	▲ 57.1	11.1	▲ 30.6	▲ 19.5	▲ 8.6
前期	▲ 54.2	▲ 40.0	▲ 12.5	▲ 38.0	▲ 20.7	▲ 71.4	▲ 55.6	▲ 44.7	▲ 39.8	▲ 39.1



今期(第3四半期)直面している経営上の問題点(複数回答可)

(n=121)

新型コロナウイルスによる売上減少	65社	53.7%	53.7%
需要の停滞、売上の減少	53社	43.8%	43.8%
経費の増加	28社	23.1%	23.1%
従業員の確保難	27社	22.3%	22.3%
販売単価の低下・上昇難	25社	20.7%	20.7%
競争の激化	20社	16.5%	16.5%
仕入単価の上昇	14社	11.6%	11.6%
原材料の高騰	14社	11.6%	11.6%
後継者の育成・確保	13社	10.7%	10.7%
エネルギーコストの増加	2社	1.7%	1.7%
その他	7社	5.8%	5.8%

Q「経営上の問題点」の項目における「10. その他」の意見

原材料の品不足(鉄工・機械)
従業員のモチベーション低下 (鉄工・機械)
具体的な地域貢献を図っていく (その他サービス業)
特になし

	鉄工・機械 (n=21)	繊維 (n=9)	その他製造 (n=16)	建設業 (n=28)	小売業 (n=6)	卸売業 (n=9)	サービス業 (n=32)
新型コロナによる売上減少	61.9%	100.0%	62.5%	14.3%	50.0%	55.6%	45.7%
需要の停滞、売上の減少	47.6%	66.7%	50.0%	46.4%	66.7%	22.2%	21.7%
経費の増加	38.1%	11.1%	18.8%	21.4%	50.0%	11.1%	13.0%
従業員の確保難	19.0%	11.1%	12.5%	50.0%	16.7%	11.1%	8.7%
販売単価の低下・上昇難	14.3%	22.2%	31.3%	17.9%	50.0%	22.2%	10.9%
競争の激化	4.8%	0.0%	6.3%	21.4%	50.0%	22.2%	15.2%
仕入単価の上昇	4.8%	11.1%	18.8%	10.7%	50.0%	22.2%	2.2%
原材料の高騰	9.5%	0.0%	6.3%	10.7%	50.0%	22.2%	6.5%
後継者の育成・確保	9.5%	11.1%	18.8%	17.9%	0.0%	0.0%	4.3%
エネルギーコストの増加	4.8%	0.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	9.5%	0.0%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	6.5%

#### Q具体的な問題点や対応策

福利厚生費やITインフラの整備等で経費増（機械・鉄工）
親企業との賃金を含む格差の拡大（鉄工・機械）
急な増産に作業員(派遣含む)の確保が困難。外国人実習生が順次帰国し、次の実習生の入国が未定で人員確保がならない（鉄工・機械）
受注増により、従業員の仕事量(残業)増による、国の働き方改革への対応が問題点 (鉄工・機械)
経営理念の見直し、従業員との関わり方を変化させる（鉄工・機械）
製造コスト増加分を販売単価に反映できない（鉄工・機械）
新規の客先や商売の開拓に力を入れているが中々効果が出ない（繊維）
競合先があるため、原材料上昇分を販売単価に転嫁が難しい（その他製造）
コロナによるイベントや会議などの中止に伴い、印刷物の注文が減少した（その他製造）
生産性の向上を目指す活動を検討し、計画・実行する（その他製造）
これからの職人の確保が大変（その他製造）
嵐の過ぎるのをジッと待つのみ（その他製造・建設業）
GoToも休みで今後どうなっていくか、経済対策が見えてこない（建設業）
工事受注の減少（建設業）
先行き不透明さからくる 不必要な過当競争、結果として工事単価の低下（建設業）
建設業は未だ人財不足、育成がへた（建設業）
悪固まりしている（卸売業）
GoTo フィーバーの影響による仕入単価の上昇は非常に厳しい、利益が残らない（卸売業）
一部入荷が難しい商品がでてきた。又、その商品の仕入価格が大幅に上昇（卸売業）
人材教育、営業力の向上、サービス力の強化（卸売業）
ビジネスモデルの再構築のスタート（小売業）
コロナの収束がいつか？売上の減少による在庫調整の管理（飲食業・宿泊）
折詰の出前をはじめた（飲食業・宿泊）
コロナで売上減（飲食業・宿泊）
人件費の増加、働き方改革の実施（その他サービス業）
設備投資計画が市場にない（その他サービス業）

## ■ その他、意見・要望

① 景気を回復させるには、一時的に消費税を減らせばよい（鉄工・機械）
② 給付金や支援金・補助金は延命措置。その後どうするのが、全く決まっていない。バブル後と同じにならないように（鉄工・機械）
③ 新型コロナウイルスは先日の商工会議所の講演会の森下先生の言う通り、正しく恐れるべき。政府がもっと経済活動を回すことを主導すべきである。（何でも事なかれ主義になっていて、これでは何も好転しない）（繊維）
④ 今必要な事にアンテナを張って、今の仕事にとらわれる事無く柔軟に対応（建設業）
⑤ 新業態への情報、M&A の情報等（小売業）
⑥ 雇用調整助成金は売上減少率や受給条件が緩やかで甘すぎるのではない？自助努力が企業に生まれにくい（卸売業）
⑦ 行政機関からの不要不急の呼び出しはやめて欲しい（その他サービス業）

### 会議所コメント：

#### ④⑤⑥⑦

本所では、金融あっせんや創業支援、また事業所の課題解決のニーズに合わせた個別相談を実施しています。また、会報やHP・SNSを活用して補助金・助成金等の情報提供を行っています。その他、経営に関する最新情報のご提供やセミナー・検定試験などによるスキルアップ、青年部活動や女性会活動などヒューマンネットワークづくりをお手伝いします。

また、行政の関連部署や石川県産業創出支援機構（ISICO）等と連携を図り、会員事業所の要望にお応えすべく対応して参ります。

#### ①②③⑥⑦

本所の関係委員会・部会等での議論を踏まえ、中小企業の発展を目的とした適切な要望・提言活動を継続的に実施して参ります。

### 【メールマガジン配信中！】

会員事業所の皆様に、当所の講習会や補助金・助成金情報のほか、融資制度や各種イベント情報などをタイムリーにお届けするメールマガジンを始めました。ご購入は無料ですので、ぜひご登録ください。

※こちらのQRコードからご登録ください。



## 議員・評議員各位

### 「小松商工会議所景気見通し調査」

### 「緊急！新型コロナウイルスによる影響調査」実施のお願い

新型コロナウイルス感染症の拡大により経営に影響を受けている皆さま方におかれましては、心よりお見舞い申し上げます。

本所では、議員・評議員を対象に、四半期毎に行っている景気見通し調査並びに新型コロナウイルス感染拡大による企業活動への影響調査を実施いたします。

ご多忙の折誠に恐縮とは存じますが、下記調査にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※前回までの調査結果は本所HPに掲載しています。

貴社名 \_\_\_\_\_ (個別企業名・個人名が公表されることはありません)

貴社の業種は 1. 鉄工・機械 2. 繊維 3. その他製造 4. 建設業 5. 運輸  
6. 小売業 7. 卸売業 8. 飲食業・宿泊 9. その他サービス業

従業員数は 1. 5名以下 2. 6～20名 3. 21～50名 4. 51～100名  
5. 101名～200名 6. 201名以上

※本調査における「前期」、「今期」、「来期」は以下の期間を指しますので、ご注意ください。

### 景況・業況の動向

○前期＝令和2年度第2四半期(令和2年7月～9月)

○今期＝令和2年度第3四半期(令和2年10月～12月、但し12月は見込み)

○来期＝令和2年度第4四半期(令和3年1月～3月)

	I. 今期(第3四半期)の状況	II. 来期(第4四半期)の見通し
	前期(第2四半期)と比べた 今期(第3四半期)の状況	今期(第3四半期)と比べた 来期(第4四半期)の見通し
1. 景況感	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
2. 売上高	1. 増加 2. 不変 3. 減少	1. 増加 2. 不変 3. 減少
3. 売上単価	1. 上昇 2. 不変 3. 低下	1. 上昇 2. 不変 3. 低下
4. 資金繰り	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化
5. 採算性(経常利益)	1. 好転 2. 不変 3. 悪化	1. 好転 2. 不変 3. 悪化

景況感(今期)の選定理由をご記入下さい。

景況感(来期)の選定理由をご記入下さい。

### 今期(第3四半期) 直面している経営上の問題点(複数回答可)

- |                     |                        |
|---------------------|------------------------|
| 0. 新型コロナウイルスによる売上減少 | 1. 大企業の進出や過当競争による競争の激化 |
| 2. 仕入単価の上昇          | 3. 経費の増加               |
| 4. 販売単価の低下・上昇難      | 5. エネルギーコストの増加         |
| 6. 原材料の高騰           | 7. 需要の停滞、売上の減少         |
| 8. 従業員の確保難          | 9. 後継者の育成・確保           |
| 10. その他( )          |                        |

問題点や対応策を具体的にご記入下さい。

--

## 新型コロナウイルスによる売上減少について

【設問1】前年同月と比べた令和2年11月の貴社の売上高についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)                      2. 減少(20%未満)                      3. 横ばい                      4. 増加

【設問2】前年同月と比べた令和2年10月～12月の貴社の売上高(見込み)についてお聞かせください。

1. 減少(20%以上)                      2. 減少(20%未満)                      3. 横ばい                      4. 増加

【設問3】令和2年1月29日以降、令和3年3月までに見込まれる減少額とその内容についてお聞かせください。

1. 50万円未満                      2. 50万円～100万円未満                      3. 100万円～500万円未満  
4. 500万円～1,000万円未満                      5. 1,000万円～2,000万円未満                      6. 2,000万円～5,000万円未満  
7. 5,000万円～1億円未満                      8. 1億円以上

【具体的に内容をお書きください】

【設問4】今後の経営の見通し(自社売上の回復)についてお聞かせください。

1. 2021年前期                      2. 2021年後期                      3. 2022年前期                      4. 2022年後期                      5. 2023年以降  
6. 見通しがつかない                      7. コロナ前には戻らない

【設問5】(設問2で「選択肢4」を選択した方にお伺いします)売上の増加幅についてお聞かせください。

1. +10%未満                      2. +20%程度                      3. +30%程度                      4. +40%程度                      5. +50%以上

## 支援策の活用状況について

【設問6】国や自治体などによる各種支援策の活用状況(申請中・申請予定含む)についてお聞かせください。

1. 活用した(融資)                      2. 活用した(給付金・支援金等)                      3. 特に活用していない                      (複数回答可)

【設問7】(設問6で「選択肢1」を選択した方にお伺いします)

融資を利用した際の資金調達先についてお聞かせください。(複数回答可)

1. 政府系金融機関による融資                      2. 石川県・小松市による制度融資  
3. 民間金融機関によるプロパー融資                      4. その他( )

【設問8】(設問6で「選択肢2」を選択した方にお伺いします)

国や自治体による給付金等の活用状況(申請中・申請予定含む)についてお聞かせください。(複数回答可)

1. 売上減少に伴う給付金・支援金                      2. 雇用維持に対する助成金・支援金  
3. 家賃補填のための給付金・支援金                      4. 新型コロナウイルス感染拡大防止対策のための補助金  
5. 業務効率化、生産性向上のための補助金                      6. 新商品・新サービス開発など新たな取組に対する補助金  
7. 販売促進のための補助金                      8. テレワーク導入に伴う給付金・支援金  
9. その他( )

## コロナ終息後に向けた新たな事業や取組予定と今後の見通しについて

新型コロナウイルス感染拡大の影響により先行き不透明な経営環境の中、コロナ終息後に向けた新たな事業や取組み予定、今後の見通しについてお聞かせください。

### 【設問9】コロナ終息後に向け行っている新たな事業や、今後予定している取組みについてお聞かせください。

- |                   |                            |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 新たな販路開拓        | 2. 新商品・サービスの開発・販売          |
| 3. ネットを通じた自社商品の販売 | 4. インターネットを利用した商談会・展示会への参加 |
| 5. 動画等を活用した事業の展開  | 6. AIツールの導入                |
| 7. 業務見直しによる効率化    | 8. 特に予定はない                 |
| 9. その他( )         |                            |

### 【設問10】現在の運転資金の状況についてお聞かせください。

- |                 |                   |
|-----------------|-------------------|
| 1. ある程度の資金準備がある | 2. 資金不足が生じる可能性がある |
| 3. 資金不足が生じ始めている | 4. 危機的な状況にある      |
| 5. わからない        |                   |

### 【設問11】現時点における今後の事業継続についてお聞かせください。

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1. 現行のまま継続する       | 2. 事業多角化・拡大を検討する |
| 3. 他社との連携を検討する     | 4. 事業縮小を検討する     |
| 5. 事業承継・売却・譲渡を検討する | 6. 事業休止・廃業を検討する  |
| 7. その他( )          |                  |

### 【設問12】今後の事業継続のために、最優先する要素についてお聞かせください。

- |            |             |
|------------|-------------|
| 1. 売上の維持拡大 | 2. 人材の確保・育成 |
| 3. 資金調達    | 4. 経費削減     |
| 5. その他( )  |             |

### 【設問13】今後必要な行政の支援策についてお聞かせください。(複数回答可)

- |                       |                         |
|-----------------------|-------------------------|
| 1. 売上減少に対する追加の給付金・支援金 | 2. 売上回復等を目的とした設備投資への補助金 |
| 3. 業務形態の変更にかかる経費への補助金 | 4. 通販サイト開設経費への補助金       |
| 5. 家賃に対する追加の給付金       | 6. 税金の減免                |
| 7. テレワーク導入費用への補助金     | 8. その他( )               |

その他、ご意見やご要望がありましたら、具体的にご記入下さい。

**回答締切: 12月21日(月)必着 (FAX: 21-3120 までご返信ください)**